

コースのあらまし 御所まちを抜け鴨都波神社から「秋津洲の道」を辿る。田園地帯を進み、国道を渡って左折。室宮山古墳から里中の道を東に向かい、4705地点の国道を北へ渡ると集落の奥に琴弾原白鳥陵。北上して病院前で秋津洲の道から離れ、籬子塚古墳の手前を右へ。ブドウ畑を過ぎて6864地点から国見山山頂へ。山頂から国見神社を経て常夜燈へと下り道。常夜燈を右折し、その先を右折するとクスリ資料館。ここから今住集落となる。T字路を左折、JR線高架を潜って進み突き当たって左折すると、左手に市尾宮塚古墳や市尾墓山古墳。国見山を除けば、全行程ほぼ平坦な歩きやすい道だ。

鴨都波神社 桜井市の大神神社別宮とも称される名神大社。祭神・積羽八重事代主命は、大国主命の子にあたるという。一般には、商売繁盛の神えびす様として親しまれる。古代の豪族、鴨族との関係が深い神社。

室宮山古墳(室大墓) 全長約238m、5世紀前半に築かれたという前方後円墳。大型埴輪が出土し、葛城地方を支配した豪族にふさわしい規模である。石室への道入口にある八幡神社境内に、室秋津島宮伝承地の碑が立つ。

巨勢山古墳群 東西南北3キロ強、巨勢山に散在する古墳群。その数およそ700基、日本最大級である。

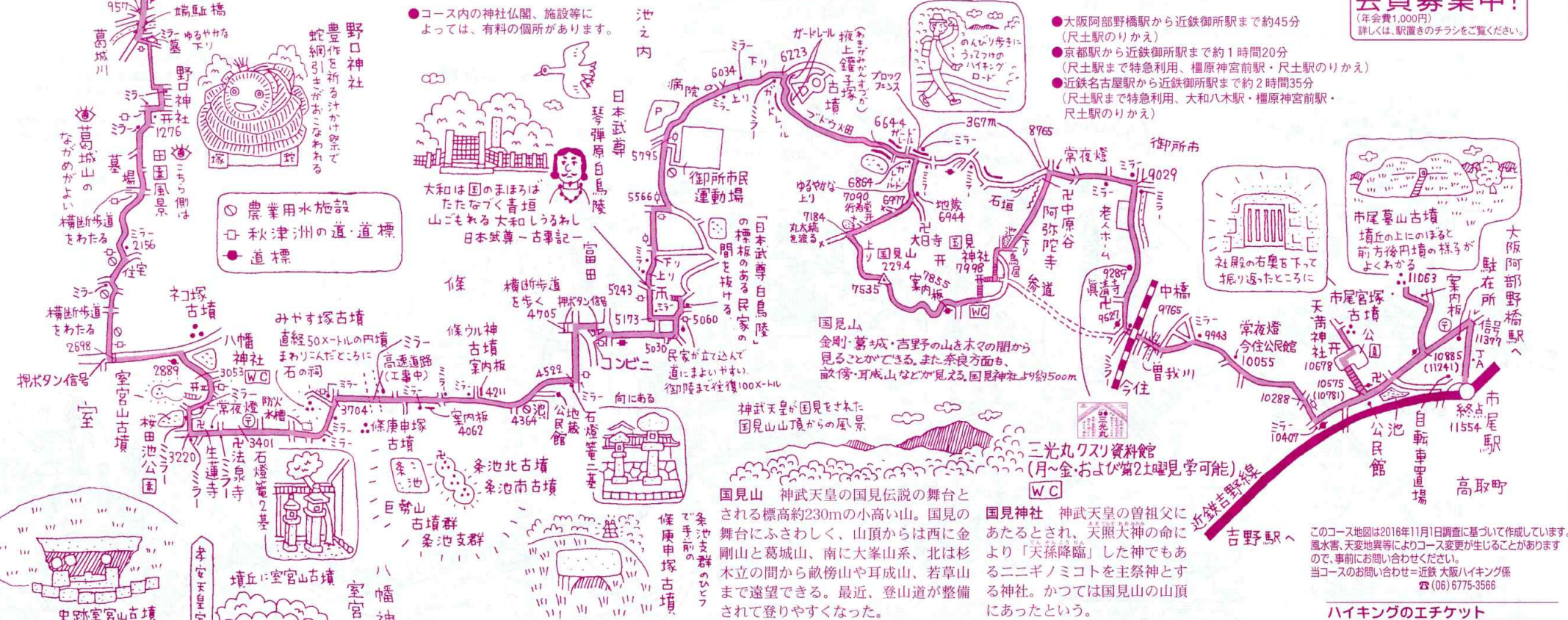
琴弾原白鳥陵 「日本書紀」によると、伊勢で亡くなった日本武尊が白鳥となつてこの地(琴弾原)に降りたという。国見山の西、集落に囲まれた小さな円墳。

掖上籬子塚古墳 全長150m、5世紀後半に築かれたと言われる前方後円墳。国見山の根根の一部を利用した珍しい造り。古代史論争は古くからあったようで、江戸時代には孝安陵・武内宿禰墓・日本武尊陵と諸説があった。

市尾墓山古墳 全長約66m、6世紀の初めに築かれたといわれる前方後円墳。発掘調査ではガラス玉や須恵器が出土した。被葬者は不明だが、このあたりに君臨した豪族と思われる。墳丘はよく整備され、石室内部もガラス窓から見学できる。

新たな特典など、さらに充実!
近鉄あみま倶楽部
会員募集中!
(年会費1,000円)
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。



きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

秋津洲の道・国見登山・古墳めぐりコース

このコース地図は2016年11月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ先 近鉄 大阪ハイキング係
☎(06) 6775-3566

- ハイキングのエチケット
- *ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
 - *山火事防止のためタバコに注意しましょう。
 - *大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=宮野耕治
※無断転写禁ず。

